



前国見町教育委員長遊佐眞紀子さん

## 文部科学大臣表彰 長年の功績を称え

10月23日、前国見町教育委員長遊佐眞紀子さんが、10月21日文部科学大臣から表彰されたことを太田久雄町長へ報告しました。遊佐さんは、平成13年10月1日から平成25年9月30日までの3期12年間教育委員長として務められ、国見町の望ましい教育環境の整備に尽力され、「国見小学校」、「くにみ幼稚園」の統合を実現されました。



宮入までの激しいもみあい

## 鹿島神社例大祭 ～歴史を受け継ぎ、伝える

町の代表的な秋祭りである鹿島神社例大祭が、10月23日から3日間行われました。秋晴れのもとお囃子の音色とともに神輿と山車、稚児行列が華やかに練り歩き多くの人々を魅了しました。また、祭一番の賑わいをみせる「もみあい」では、若連衆の勇ましいかけ声と、山車と山車が神輿を挟んでぶつかり合う様子に沿道の人々は歓声に包まれました。



## 第1回市町村対抗福島県ソフトボール大会 国見町チームがベスト8の快挙！

10月18日、初の開催となった市町村対抗福島県ソフトボール大会で、国見町チームがベスト8の快挙を成し遂げました。棚倉町との初戦、佐藤大輔投手が14三振を奪う力投で7回を投げ切り逆転勝利。2回戦は強豪の伊達市に6対0で快勝。3回戦は古殿町をサヨナラで下し、ベスト8進出を果たしました。チームは試合を重ねるごとに雰囲気も向上、応援のため会場の相馬市に駆け付けた町民の期待に応え続けました。準々決勝は10月25日に行われ、連戦の疲れが見え始めましたが、優勝候補の郡山市を相手にしても一歩も引かず、安達雅樹監督を中心にチーム一丸となって戦い抜きました。

試合は郡山市が序盤に好機を逃さず得点し、チームも必死に反撃しましたが、2対6という結果でした。チーム一丸となった戦いは応援する方々に感動をあたえ、町民に明るい話題となりました。来年は優勝を目指し、チームは更なる高みを目指します。



上：戦いを終えたチーム一同の雄姿  
下：連戦を戦い抜いた佐藤大輔投手



あったかい いもじるたべて にこにこね

## あったかい 気持ちも一緒にいただきます

10月28日、上野台仮説住宅で芋煮会が行われました。芋煮、柿やリンゴなど旬の食材がならびました。国見町社会福祉協議会会長（太田久雄町長）も訪問され、入居者の皆さんと談笑しながら秋の味覚を思う存分堪能しました。食事のあとは輪投げ大会も行われ、皆さん笑顔が絶えない芋煮会となりました。

## 青少年育成町民会議 10月の奨励金交付



- 1 第24回東北小学生学年別ソフトテニス大会に出場 左から：菊地里奈、菊地莉世、岩城綾音、保坂百香
- 2 高等学校新人体育大会県大会出場（剣道）左から：赤井畑諄、朝内梨々香、遠藤優太、菅野亮太、佐藤瞬太
- 3 中学校新人大会県大会出場（ソフトテニス）前列左から：岩城初音、引地佑菜、阿部仁美、稲村紫月  
（柔道）後列左から：佐々木舞依、野村成美、藤山紗良、國分健翔、渡辺拓陽
- 4 高等学校新人体育大会県大会出場（ソフトテニス）前列左から：佐藤ひなた、引地理彩、五十嵐温子、岡田結愛  
後列左から：稲村瑛仁、佐藤竜介、鈴木悠一郎、寺島一輝



講演を行う木下剛さん

## 第3回 国見町歴史まちづくりシンポジウム開催

10月19日、観月台文化センターで千葉大学大学院准教授の木下剛さんによる講演と福島大学生によるシンポジウムが行われました。「千年村の意義と千年のまち国見」をテーマとした講演や、「歴史を活かしたまちづくり」「集落活性化調査」について学生からの調査報告があり、約100人の参加者は町の新たな魅力や可能性に耳を傾けました。



あせかいて みんなえがおで くさむしり

## 藤田駅前をきれいに ～シルバーの日奉仕作業～

10月11日、国見町シルバー人材センターの会員30人が、藤田駅周辺の除草や清掃作業を行いました。シルバーの日奉仕作業は、会員が健康で働ける喜びに感謝するとともに、地域への恩返しのために毎年実施している取り組みです。かまや刈払機での草刈り、ごみ拾いを行いました。1時間ほどの作業で、すっかりきれいになりました。